

## Intensive observations using long-term ocean bottom seismometers; Cases of off-Sanriku and off-Hitachi

# 山田 知朗 [1]; 中東 和夫 [2]; 桑野 亜佐子 [3]; 真保 敬 [3]; 望月 公廣 [4]; 篠原 雅尚 [5]; 酒井 慎一 [6]; 橋本 信一 [7]; 八木 健夫 [8]; 金沢 敏彦 [9]; 三浦 亮 [10]; 雨宮 晋一郎 [11]; 村井 芳夫 [12]; 高波 鐵夫 [13]; 鈴木 健介 [14]; 東 龍介 [14]; 山本 揚 二郎 [15]; 伊藤 喜宏 [14]; 日野 亮太 [14]; 水上 遥 [16]; 水野 真理子 [17]; 佐藤 利典 [18]

# Tomoaki Yamada[1]; Kazuo Nakahigashi[2]; Asako Kuwano[3]; Takashi Shinbo[3]; Kimihiro Mochizuki[4]; Masanao Shinohara[5]; Shin'ichi Sakai[6]; Shin'ichi Hashimoto[7]; Takeo Yagi[8]; Toshihiko Kanazawa[9]; Ryo Miura[10]; Shinichiro Amamiya[11]; Yoshio Murai[12]; Tetsuo Takanami[13]; Kensuke Suzuki[14]; Ryosuke Azuma[14]; Yojiro Yamamoto[15]; Yoshihiro Ito[14]; Ryota Hino[14]; Haruka Mizukami[16]; Mariko Mizuno[17]; Toshinori Sato[18]

[1] 東大・地震研; [2] 東大・地震研; [3] 東大地震研; [4] 東大・地震研・観測センター; [5] 東大・地震研; [6] 東大地震研; [7] 東大地震研; [8] 東大・地震研; [9] 地震研; [10] 日本海洋事業; [11] 北大院・理学研究院・地震火山センター; [12] 北大・理・地震火山研究観測センター; [13] 北大院・理学研究院・地震火山センター; [14] 東北大・理・予知セ; [15] 海洋機構; [16] 千葉大・理; [17] 千葉大・理; [18] 千葉大・理

[1] ERI, Univ. of Tokyo; [2] ERI; [3] ERI; [4] EOC, ERI, Univ. of Tokyo; [5] ERI, Univ. Tokyo; [6] E.R.I., Univ. of Tokyo; [7] E.R.I Univ. of Tokyo; [8] ERI, Univ. of Tokyo; [9] ERI, Tokyo Univ; [10] NME; [11] ISV, Hokkaido University; [12] Institute of Seismology and Volcanology, Hokkaido Univ.; [13] ISV, Hokkaido Univ; [14] RCPEV, Graduate School of Sci., Tohoku Univ.; [15] JAMSTEC; [16] Science, Chiba Univ.; [17] Science, Chiba Univ.; [18] Chiba Univ.

大地震多発地帯の一つである日本海溝・千島海溝陸側斜面海域において、合計 189 台の長期型海底地震計を用いた集中的な観測を、2004 年度から 5 年間実施した。本発表では本観測の概要と、三陸沖および常陸沖で実施した実験結果について述べる。本観測における海底地震計は、これまで稠密観測を実施している領域と併せることにより、日本海溝沿いのプレート境界地震発生域を概ね覆うように、20km 間隔で展開した。このうち 2007 年 10 月から 2008 年 6 月にかけて三陸沖に 49 点、2008 年 5 月から 10 月にかけて常陸沖に 50 点で地震観測を行った。三陸沖においては、プレート境界に面上に分布する地震活動や下盤側プレートの沈みこみ角度が変化する地点付近に立体的に分布する地震活動などが見られた。また常陸沖においては、定常的な地震活動に加えて、観測直前に発生した茨城沖地震の余震を多数記録している。この間、別途実施していた茨城沖における繰り返し地震観測と併せて、茨城沖地震の前震・本震・余震を含む一連の時空間分布があきらかになった。なお、本研究は、文部科学省委託研究「東南海・南海地震等海溝型地震に関する調査研究」などにより実施した。